

○「今日」という子どもにとって大切な1日を自覚した教育の推進

- ・ 教員にとっての1日は、来年も再来年も仕事をする中での1日
- ・ 出会ってきた、これから出会う大勢の中の一人の子ども
- ・ 子どもにとってはたった一人の先生であり、小学校生活での繰り返すことのない1日
- ・ 『三小プライド』を身に付ける 高学年に響く  
 昨年の6年を超える



○好学篤行を

- ・ 勉めを強いるのが「勉強」
- ・ 苦しいけれどもその先に、学ぶ楽しさと喜び
- ・ 学習規律と三構え（心・身・物）
- ・ 凡事徹底 三小の当り前を上級生から下級生に伝える
- ・ 先言後礼と脚下照顧
- ・ とにかく挨拶ができる子たち 校舎内ですれ違っても  
 1年~6年まで
- ・ 挨拶ができる子は伸びる 私の信条



○PTAや地域との連携

- ・ 立川市民科の取り組み  
 地域に愛着をもち、地域の一員としての自覚
- ・ 地域の人・物から学ぶ 地域の人・物を学ぶ の両輪で

○5年 八ヶ岳自然教室

- ・ 元気が一番 体調不良一切なし テンションの高さ
- ☆ 食事の後片付け どんな立派な挨拶よりも
- ・ 人の気持ちを考える 大人だって難しい  
 自分がしてもらってうれしいこと、うれしい言葉がけを友達にも



○運動会、土曜学校公開そして道徳授業地区公開講座と音楽会

- ・ コロナ禍での実施形態 昔のようにはならないだろう
- ・ 分散（分割）形式での実施と人数制限 道徳は1/4だけ
- ・ 学校行事は「できることを、できる範囲で、できる限り」で工夫して実施を目指し続ける

